



人権集会 寒い朝を温める時間に…

南小学校では、11/26～12/4を人権週間として生活を見直す取組をしてきました。各学年で「人権宣言」を考え、そのためにできることを考え、行動にうつしました。そして、12月4日(運動場に初めて雪が積もった日)の朝に「人権集会」を開催しました。いくつもの学年で、「言われてうれしかったこと」「うれしさを感じるとき」など、自分が褒められたり、認められたりした時に焦点を当てた発表が多かったのが今年の特徴です。玄関にある「すて木」これは南小の誇りだと思われていますが、これと同様に『やさしさの木』を教室に設置し、取り組んだ学年もありました。人権週間の目指すものの一つに「いじめ撲滅」があるのですが、いじめは、自分と異なるものを受け入れないところから始まると言われています。人それぞれに好みは異なります。何を大切にしているかも違います。それが当たり前なのに、否定することがいじめを引き起こすのです。横並び主義になりたい気持ちもわかりますが、人に合わせるのがしんどいと感じた経験は、誰もが持っているものです。「みんなちがって みんないい」という言葉(金子みすゞさん作の詩『私と小鳥と鈴と』の最後のフレーズ)が学校ではよく用いられます。でも、実際は、集団のなかで同じことを強いられる場面はたくさんあります。集団生活を送る以上、みんなちがって…をすべて具現化することはできませんが、そのことにストレスを感じてしまう子が少なくないことも忘れてはいけないと感じます。

そして、集会の終わりには子どもたちに2つのことを伝えました。一つは、2学期に母校を訪れた卒業生のエピソードです。これについては、別枠で紹介します。もう一つは、職員室でその前日の会議で共有した南小児童の「ステキ」です。特定の学年や特定の児童の名前を挙げて紹介しました。もちろん褒める内容だったのですが、集会の後、これでよかったのかな?と反省し、あとで謝罪しておきました。昨年の学校だよりで触れたことを思い出したからです。それは、『先生、どうか皆の前でほめないで下さい』という本の存在です。1年経っても読んでいない自分を反省し、読み始めたところです。子どもたちの心理的特徴を捉えた興味深い内容です。



低学年に読み聞かせをする中学生



学年の発表



中学生による 読み聞かせ

2学期には、マキノ地域において素晴らしい取組がたくさんありました。前号で紹介したマロン大会もその一つですが、そのほかにも「中学生による小学生への読み聞かせ」がありました。朝の登校前に母校に立ち寄って実施するという時間の使い方にも感心します。昨年まで南小のリーダーとして全校を導いてくれた子たちが、母校への凱旋をするようなこの取組の意義は大きいと感じます。いきなり本を読み始めるのではなく、事前に用意しておいた手あそびなどで教室の空気を和ませる活動から始まります。小学生も中学生も笑顔でいっぱいの教室を作ったうえで読み聞かせが始まります。さっきまで笑い声でいっぱいの教室が静まり返り、本に集中します。

さて、教室での出番が終わってからもドラマがあります。玄関を出ようとした時に、中学生が「すて木」の掲示に目をやります。「続けてくれてるんやな」「うれしい」そんな会話をしながら、やがて「ステキを書いていいですか」との発言。後輩たちにまさにステキなメッセージを書き、木に貼り付けます。伝統を引き継ぐ小学生とそのことにエールを送る中学生。素晴らしい光景です。

ちなみにですが、そのことを紹介した人権集会の日の給食時には、さっそく中学生のメッセージをとりあげて放送する代表委員会の計らいも「ステキ」です。



みんながっていい マイプラン学習(6年生)

マキノ南小学校の6年生は、5年生の頃から高島市教育研究所の研究実証授業として「単元内自由進度学習」に取り組んできました。これは一つの*単元まるごと一定の約束のもとで、子ども自身がオリジナルの学習計画を立て、自分の方法で、自分のペースで学習を進めていくというスタイルの学習です。教室と多目的ホールを使って学習に取り組むのですが、各自で選べる学習プリント(基礎～発展問題)やヒントとなる掲示物や具体物を自由に操作できるような材料がたくさん準備され、自分に合った学習ができます。

5年生時には、算数科「合同な図形」の単元で取り組みましたが、6年生では、算数科「拡大図と縮図」総合的な学習の時間「修学旅行の振り返り」を合わせた時間を確保し、自分で計画を立ててチャレンジしました。学習を参観していると、もくもくとプリントに取り組む子、わからないところを仲間と相談する子、動画からヒントを得ようとする子、仲間と思い出話をしながらタブレット端末に修学旅行の新聞を作成する子など様々です。

複数の教科を合わせた自由進度学習(マイプラン学習)を終えた子どもたちの感想は、「自分のペースで進められるから、自分がわかるまでしっかりと復習できた」「自分に合った学習法がわかり、テストもいい点だった」「自分自身の苦手・得意なところがわかった」「わからないところは友達と教え合って復習ができた」など、肯定的な文章が綴られていました。「個別最適化学習」「主体的な学び」そんな言葉が現代教育の流行語のようになっていますが、従来の講義形式の授業から抜け出せないことが多いなかで、子どもを受け身の学習にさせないこの取組は、大きな意義があると感じます。

新たなリーダーへ(4年生)

11月26日、給食の時間に放送が入りました。「4年生からのお知らせです。……」ハキハキとしたその声からも意気込みが感じられます。給食を済ませて全校児童が体育館に集まります。ランドセルをカゴに代用しての「追いかけて玉入れ」の説明を、見本を見せながら説明をしていきます。そして実践へ。進行する姿も堂々たるものです。物怖じすることなく、むしろ楽しんでいるかのように見えます。2学期の終わりが見えかけたこの時期、やがて卒業する6年生に代わって南小の新しいリーダーが育つ時期でもあります。6名の頼もしい集団は、高学年を迎える準備を始めています。



1月 学校行事予定

7日 (水)	始業式
8日 (木)	給食開始 給食後に下校
9日 (金)	発育測定(4,5,6年) PTA理事会(新役員)
12日 (月)	成人の日
13日 (火)	発育測定(1,2,3年) たてわり遊び
15日 (木)	図書館訪問貸出
19日 (月)	委員会活動

19日 (月)	学校運営協議会
20日 (火)	学習参観 5年ひびきあい活動
26日 (月)	クラブ活動 給食週間(~30日)
27日 (火)	雅楽鑑賞(5,6年)
28日 (水)	マキノ中学校入学説明会
30日 (金)	スキー教室(5,6年)

※ 都合により変更することがあります。ご了承ください。

電子版「教育しが」はこちらからご覧になれます。

教育や子育てに関わるタイムリーなお知らせやご案内を掲載しています。
印刷物版「教育しが」にはない情報やより詳しい情報をご覧いただけます。



冬季休業中の緊急事態(お子様が重大な事故に巻き込まれたなど)は、学校へ連絡をお願いします。なお、長期休業中の電話対応は、8:15～16:45の時間帯(平日)とさせていただきます。夜間や休日および12/27～1/4の学校閉庁期間の急を要する連絡は、高島市役所(25-8000)へご連絡ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

*単元…教科の学習内容のまとまりのこと。(例)三角形と四角形(算数科)、跳び箱運動(体育科)など